福岡第１法務総合庁舎の紹介

本建物は、福岡法務合同庁舎（福岡法務局旧庁舎）の老朽化と福岡空港の拡張に伴う入国管理局の移転先として、隣地の旧浜の町病院跡地に法務省関係官署が入居する庁舎として新設された。

福岡法務局を主官署として、他に九州公安調査局、福岡入国管理局が入居し、性格の異なる官署に配慮した施設となっており，環境にも配慮し、主照明はＬＥＤ器具を採用、屋上に太陽光発電システムが設置されている。

また、部外者の侵入及び情報漏えいを防止するため、共用エリアと専用エリアを区画した個別のセキュリティシステムや、来庁者が使いやすい施設づくりを目的として庁舎全体の案内板を南北両方の出入口に設置し、太陽光の発電状況を表示したり、庁舎のイベント案内等を表示するディスプレーも設けている。

海が近い場所に建設されたため、水害による被害を防ぐことを目的として、地下フロアを設けずに屋上に電気室、発電機室を設置している。

立地が住宅地周囲であるので、グレーと黒を基調とした落ち着いたデザインの建物となっており、周囲の環境に溶け込んだ施設になっている。

【施設概要】

建物名称：福岡第１法務総合庁舎
所 在 地：福岡県福岡市中央区舞鶴３丁目５番２５号
建築規模：地上８階建て
敷地面積：5,645.20㎡
延床面積：14,772㎡
構　　造：鉄骨鉄筋コンクリート造

施設紹介

電気設備概要

■受変電設備　受電方式：6,600V　1回線受電　地中引込

受変電機器：屋外キュービクル　電気室総面積　113.76㎡

変圧器1φ150kVA×3　3φ300+500kVA　ｽｺｯﾄTr100kVA

SC265.6kVar　SR15.6kVar

■発電設備　非常用発電機と保安用発電機を兼ねたディーゼル発電機を８階発電機室に設置

オイルタンク（軽油）の備蓄容量は約10時間分を確保

容量250kVA　電圧　220V　軽油

■照明設備　館内必要箇所に人感センサー・明るさセンサー・ＬＥＤ照明・非常照明・誘導灯を配置、照明制御盤を１階中央監視室に設置

■電力貯蔵設備　受変電設備の制御用及び館内非常照明用電源として８階電気室に設置

■太陽光発電　屋上に太陽光パネル10kＷを設置し、マルチサインを兼ねた表示装置を1階に設置

■雷保護設備　屋上階に突針と棟上げ導体で構成。引下げ導線は建物構造体を利用

■通信・弱電設備　構内情報通信網設備（ＬＡＮ設備）

映像音響設備（ＡＶ設備、プロジェクター等）

監視カメラ設備（監視カメラ、モニター、録画装置等）

構内交換設備（電話、端子盤）

情報表示設備（電気時計、呼出警報、出退表示）

誘導支援設備（インターホン、トイレ呼び出し）

テレビ共同受信設備

入退室管理設備（非接触カードリーダー式電気錠）

自動火災報知設備

８階電気室内　受変電設備

８階電気室内　自家発電設備

大学病院施設における受変電設備更新工事

株式会社 九電工
黒川　一幸，永井　竜一

1．はじめに

本建物は1970年代後半に建設され、それから現在までの約40年間、受変電設備の定期点検、部品交換などのメンテナンスを行なってきた。しかし、各機器のメーカにおける交換部品保有期間も過ぎており、受変電設備の安全性や信頼性確保への観点から、大規模な更新工事に取り掛かることになった。病院施設における受変電設備更新工事は不慮のミスで人命にも関わるため、作業事故による停電はもちろんのこと、長時間の停電も行なうことができない。今回、その点に留意して計画、施工した内容について述べる。

2．工事概要と受変電設備更新フロー

（1）工事概要

延床面積：30,642.34㎡（今回工事分）
構　　造：SRC構造
病 床 数：381床（今回工事分）
受電方式：3φ3W66kV×1回線受電
変電設備：特高変圧器3,000kVA×2台
電気室数：主電気室、サブ電気室6箇所

（2）受変電設備更新フロー

①稼働中の既設電気室を改修する前に、仮設キュービクルを設置する。
②仮設キュービクルから現状エリアへ電源供給を行い、停止した既設受変電設備を解体、搬出する。
③撤去後のスペースに新設キュービクルを設置する。
④停電切替え作業を段階的に行い、仮設キュービクルから新設キュービクルへ負荷を移行する。
⑤仮設キュービクルを撤去、搬出する。

3．問題点の抽出と解決策

3．1仮設キュービクルからの送電について

（1）問題点

設計計画では仮設キュービクル設置後、仮送電まで1日の停電作業で高圧・低圧系統を同時に切替える計画であった。

そのため、停電時間が1日のうち連続で16時間要することになり、仮設発電機による送電対象機器が多くなることや緊急手術が実施できないなど、病院の運営や機能に多大な影響を与えることが懸念された。実際にヒアリングを行なった結果、医師や看護師から反発が大きく計画の見直しを余儀なくされた。

（2）解決策

今回の改修対象エリアが手術室や人工透析室など人命に対する影響が大きいエリアも含まれており、長時間停電を避けるために、停電切替え作業の細分化を計画した。

以下、その切替手順を示す。

【切替手順】

①切替前、主電気室からサブ電気室への高圧系統は、商用回路が高圧饋電盤から、発電機回路は既設第1電気室からの送りで供給されていた。

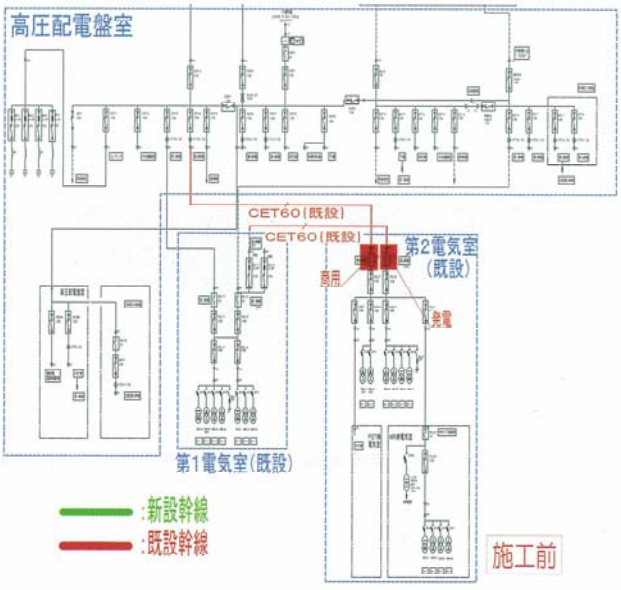


図1．電気室改修前

②高圧幹線を新規に配線し、既設電気室へ盛り替えて送電する。（1日目：高圧停電）

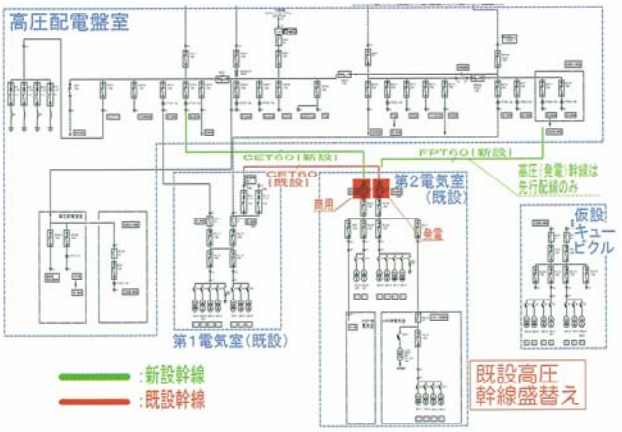


図2．高圧幹線の新規延線と盛替

③仮設キュービクルを設置した後、仮設キュービクルへ高圧及び低圧幹線を配線、既設電気室の低圧負荷を仮設キュービクル側へ盛り替える。(2日目:低圧停電)

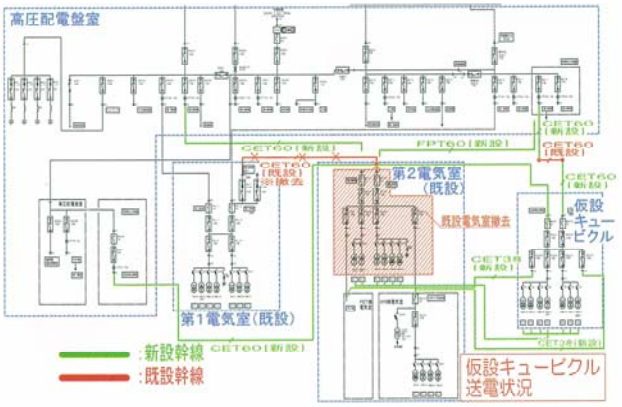


図3．仮設キュービクルより送電

以上の方法で切替えを行い、1 つの電気室に対する停電回数は増えたものの、1 日あたりの停電時間は最長でも約8 時間となり、病院の営業に大きな支障を及ぼすことなく切替え作業を実施することができた。

写真1．撤去スペースに新設キュービクル設置

3．2 停電が許可されない重要設備

（1）問題点

先程述べた通り、停電作業の分散化を図ったが手術室等の重要設備は長時間の停電が許されなかった。そのため、停電時間を短時間にするための作業計画を入念に検討し、病院側と協議する必要があった。

（2）解決策

①医療機器毎に許容できる停電時間を病院側にヒアリングした上で、数分以上の電源喪失が許容できない機器については他電気室からの仮設送電や簡易発電機で電源供給を行う。

②内部にMAC-DT（電源切替開閉器）を有する分電盤については、2 系統の電源入力のうち片方（商用または発電機回路）が喪失した場合の切替シーケンスを確認し、予期せぬ停電が発生しないよう留意した。

③病院の営業計画と状況を関係者とよく打合せ、手術と検査を行なわない日時を設定していただいた。尚、不測の事態に備え、事前に緊急時の搬送先として他の医療機関に協力を依頼していただいた。

4．まとめ

今回、停電作業に伴う病院営業への影響を可能な範囲で小さくすることを念頭に置き施工計画を立て、ほぼ計画とおりに実施することができた。その中で特に効果を実感できた点は、分電盤内のMAC-DT を有効活用できたことである。病院施設においては商用回路、発電回路、無停電回路の用途の異なる電源があり、停電作業時はこれらを状況に応じて利用することにより停電時間の短縮を実現することが可能となる。

一方、今回は時期の問題で受変電設備の年次定期点検による全館停電を効果的に活用することが出来なかった。

施工計画時にその点を組込んで検討出来ていれば、更に効率的に切替作業が実施できたと反省している。

5．おわりに

本工事では7 箇所のうち、4 箇所の電気室の更新及び撤去を実施したが、大きな事故もなくほぼ再計画のとおりに工事を終えることが出来た。

この工事を通して稼動中の病院施設における改修工事の難しさは、(ⅰ) 現場の詳細な調査、(ⅱ) 関係各所との綿密な協議、(ⅲ) 実現可能な作業計画、(ⅳ) 不慮の事故等が起きたときの対応方法策定、にあると感じた。今回得た貴重な経験を活かし、電気設備技術者として更に成長したいと思う。

産婦人科病院施工における留意事項

株式会社 九電工
江浦　毅征

1．はじめに

今回病院の新築工事として、産科・婦人科の専門病院の施工を行った。女性専門の病院であり、新たな命が生まれてくる場所で一般の総合病院のように病気や怪我を治療する場所ではないため、「病院であるが、病院ではない（病院と見せない）」をコンセプトに施工を進めた。病院自体は、全国的にも産科・婦人科専門病院としては規模が大きく、不妊治療を行うクリニックと合わせて地域医療に大きく貢献している。（表１）

表１　年間分娩件数ランキング（2015年度）

順位	都道府県	市区町村	医療機関	正常分娩	選択帝王切開	緊急帝王切開	分娩件数合計
1	熊本県	熊本市中央区	H病院	2,618	364	358	3,340
2	埼玉県	川越市	A病院	2,746	300	145	3,191
3	埼玉県	富士見市	K病院	2,163	319	222	2,704
4	神奈川県	横浜市瀬谷区	H病院	2,538	23	14	2,575
5	愛知県	安城市	A病院	1,501	402	197	2,100
6	宮城県	仙台市青葉区	I病院	1,173	337	445	1,955
7	埼玉県	戸田市	T病院	1,667	199	70	1,936
8	東京都	葛飾区	K病院	1,260	303	338	1,901
9	埼玉県	越谷市	S病院	1,541	209	63	1,813
10	愛媛県	松山市	T病院	1,424	148	234	1,806
11	愛知県	豊田市	S病院	1,416	231	139	1,786
12	千葉県	船橋市	Y病院	1,427	157	135	1,719
13	大阪府	東大阪市	K病院	1,400	200	100	1,700
14	鹿児島県	鹿児島市	A病院（鹿児島1位）	1,469	151	55	1,675
15	埼玉県	白岡市	S病院	1,385	182	79	1,646
156	鹿児島県	鹿児島市	K病院（鹿児島2位）	386	164	305	855
207	鹿児島県	鹿児島市	I病院（鹿児島3位）	685	64	41	790

産婦人科専門病院と総合病院との違いとして、総合病院であれば、各専門の診療科があり、そこでの治療にて完結する。しかし、産婦人科においては、新たな命を授かり約１年間通院を行い、おなかの子供が成長するにつれ、段階を踏みながら病院内での各部門を経由していく。さらに、妊娠中の「マタニティヨガ」や「母親教室（父親教室）」などと、イベントを行うために通院することも大きな違いのひとつである。産婦人科の検診フロー図を図１に示す。フローの通り、各診療科で完結ではなく全てが繋がっていることがわかる。また、それぞれのフローが特殊であるため、各部屋の働きや役割をまず理解した上で、部屋の仕様・電源系や患者及び病院スタッフの動線確保など細かな打合せが必要となる。

本件名では、一般の総合病院と違い、産婦人科病院特有の女性目線での電気設備の施工ポイントについて記す。

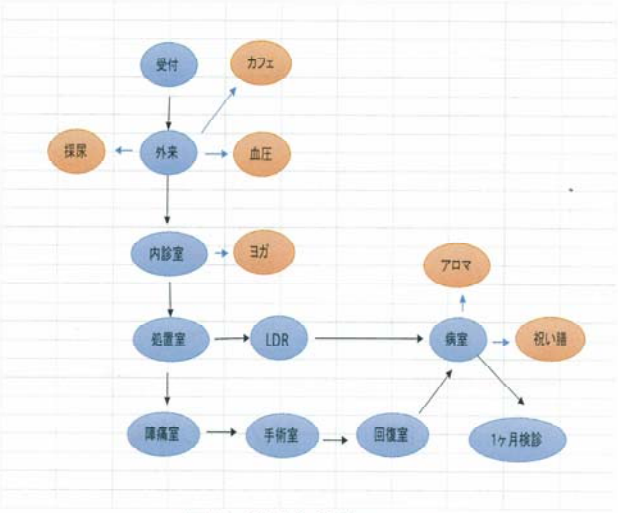


図１ 産婦人検診フロー

2．工事概要

工事件名：某病院新築工事
工　　期：平成27年４月～平成28年９月
場　　所：鹿児島県鹿児島市
構　　造：RC造地上５階
　　敷地面積4269.70㎡
　　延床面積6472.45㎡
受　　電：6600V １回線
変 圧 器：１φ330kVA ３φ300kVA
　　スコット40kVA
発 電 機：非常用ディーゼル150kVA
Ｕ Ｐ Ｓ：非常用15kVA

3．課題と解決策

新病院建設に当たり、下記２点を産婦人科病院建設におけるテーマとして、施工計画に取り組んだ。

（1）安心してリラックスできる空間を造る

産婦人科病院は治療する場所でなく、新たな命が産まれる場所であることから、妊婦さんがストレスを感じることなく心身共にリラックスできるホテルのような空間を造ることが要求される。そこで、下記の２点についてこのテーマの課題として取り組んだ。

①　多くの曲線構造に対応するためテープライトを採用する

設計者との打合せが進むにつれ、意匠のこだわりが強く、原設計では計画していない部分にも間接照明の要望が増えてきた。建築構造的にも収まりが非常に厳しかったため、一般の建築化照明だけでなく「TOKISTAR」のテープライトを使用することで、多くの曲線構造や狭小箇所への対応を可能とした。（図2.3）

図2　TOKISTAR AVXF-100-2400K

図3　１階エントランスホール

②　全てのベッドに調光付照明を追加

病室にはベッド灯を配置予定であったが、回復室やLDRには計画が無かったため、落ち着いて産まれた赤ちゃんと過ごしたり、読書をして気分を落ち着かせることが出来るよう、調光スイッチ付きのベッド灯を設けた。また、全てのベッドに対して携帯電話充電用コンセントを追加した。（図4）

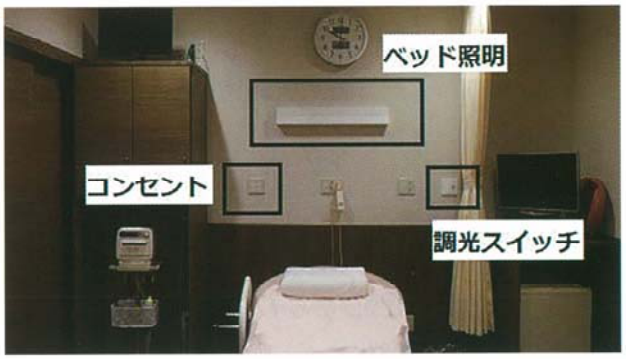


図4　ベッド照明配置

③　照明の色・配置の調整

新病院全体において、患者にかかわる部分と関わらない部分とに分け、照明器具のランプの色を分別した。

・患者部分：温白色（斜線部分）
・スタッフ部分：昼白色

患者部分を温白色のオレンジに近い温かみのある色とすることで、一般病院の殺伐とした雰囲気でなくホテルのようなリラックスできる空間とした。（図5）

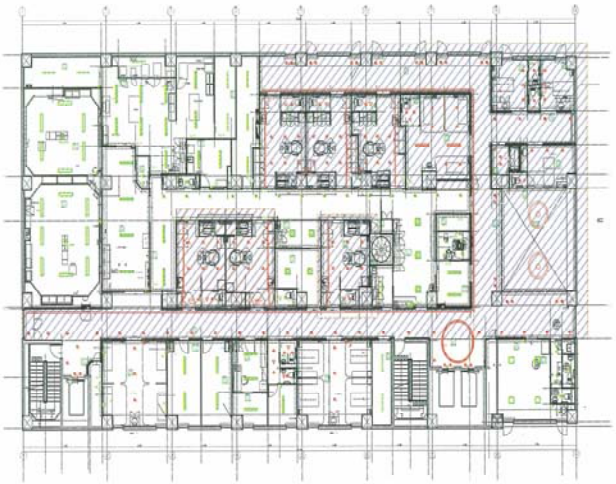


図5　照明ランプ色分け

④　病室照明の配置

各個室の照明は、ベッドの対面の壁際に最低限のダウンライトの配置とし、産まれてきた赤ちゃんと一緒に眠ることができるよう、ベッド周りのダウン

ライトは中止とした。夜中の授乳に必要な明るさについては、枕元に部屋のスイッチを集約し、前項にて述べた調光スイッチにより眩しすぎない明るさとできるよう計画した。(図6)

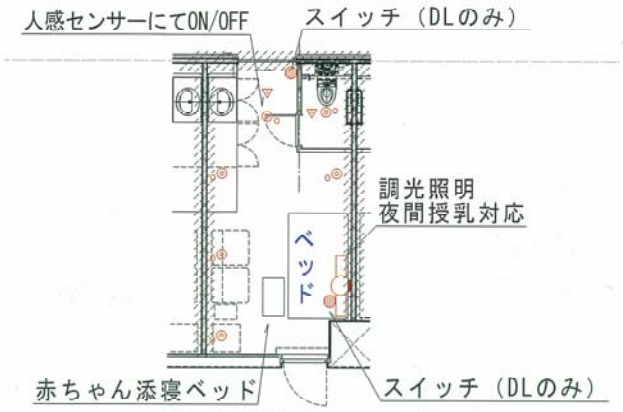


図6　居室照明スイッチ配置図

⑤　放送系統の細分化

新病院は非常放送設備を導入しており、基本的には各階廊下と居室で系統を分けている。

更に、今回は2階モニター室及び5階アロマルームにおいてはリクライニングソファー等でのゆっくりとした時間を過ごすため、系統を単独とし、共用廊下等とは別の音楽を流せるように配慮した。

手術室についても、小型アンプと専用スピーカーを設置し、スマートフォンからでも好きな音楽が聴ける環境を整えた。

⑥　LDR内の医療機器を患者に見せないようにする

陣痛（Labor）分娩（Delivery）回復（Recovery）までを同じ部屋で過ごすことが出来るお産の部屋のことをLDRと呼ぶ。LDRはお産の進行によって分娩室に移動する必要が無いため、精神的・肉体的にも負担が軽くなる特徴がある。新病院ではお産の全てをLDRで行うため、病院内で一番重要な部屋でもある。お産の際にストレスを感じることなく、リラックスした空間を造るにあたり、下記の2点を満たすことができる配置を検討した。

【LDR配置条件】

1．医療機器を患者に見せないようにする
2．スタッフの立ち位置からは、計器・モニター類が見えやすい場所とする

【ＬＤＲ配置機器】

1．酸素吸入器
2．生体情報モニター
3．ベッドサイドモニター
4．インファウォーマー
5．分娩監視モニター
6．セントラルモニター
7．新生児ウォーマー

上記の医療機器を見せないようにするため、別途建築工事において機器収容箱を製作し、LDR内広域に設置予定であった機器を部屋の角位置へまとめる計画とした。電源系統においても、機器を1箇所にまとめることで収容箱内が医療機器用専用電源となり、一般機器を同一電源から使用しないという条件で医療機器をUPS回路電源とし、医療機器のバックアップも充実することができた。制作箱は、医ガスも含めて、使用順序・頻度により機器配置を検討し、身長の低い女性スタッフ（150cm）を基準とした。(図7)

図7　LDR機器収納箱

又、スタッフ立ち位置についても同様にモニター類を部屋の角位置に設置し、天井付近で患者の背中側への配置を検討することで医療機器モニターを病院スタッフのみが確認することができることとし、2点の配置条件を満たすことができた。

（2）女性目線での配慮と心配りの空間を造る

新病院に携わる人は、患者及びスタッフの9割以上が女性となるため、女性目線での空間を造る必要がある。

① 診察室内モニターが第三者から見えない配置とする（機器類の配置検討）

診察室及び処置室は妊娠初期から入院する前まで、定期的に患者が検診を受けに来る場所である。それぞれの患者のプライバシーを守るため、誤って扉を開けたときにモニターを見られたり、診察情報を第三者に見られないような対策をとらなければならない。

そこで、

① 患者と病院スタッフの動線を明確にする

新病院には６部屋の診察・処置室があり、それぞれの向きや配置が異なっている。また、入り口も２箇所あり患者用とスタッフ用とで分かれている。そこで、患者ルートとスタッフルートをまず明確にすることで、部屋の操作スイッチ類を全てスタッフ側入り口とした。

次に、モニター類は患者入り口に背を向けるように配置した。それにより誤って扉を開けても、情報を見られることが無い。（図8）

② 身重の患者ルートの足元を広くする

妊娠から予定日に近づくにつれ、思うように体を動かすことが出来なかったり、足元に不安を覚えるようになる。そこで誤って電源及び通信コード等に躓くことがないよう電源位置の検討をする必要がある。処置室において電源コードを必要とするのが、

①検診台
②超音波診断装置
③エコー機

上記３種となっている。電源コード類に躓くことが無いように、コンセント関係の配置を計画する必要がある。今回は、最低500mmの歩行スペースを確保し、尚且つ検診台の排水スペースを、他の機器を動かさずとも作業が出来るよう配置した。

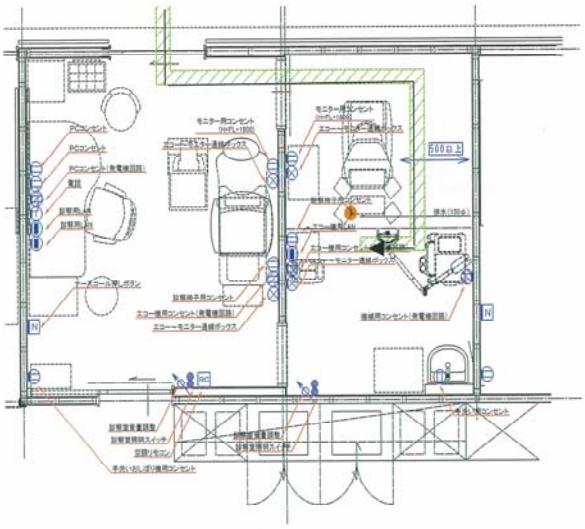


図8　２階診察・処置室

③ スタッフ用医療機器コンセント高さ検討

スタッフは９割以上が女性であることから、医療機器用コンセントについては高さをFL+1000にて統一した。また、スイッチと空調機等の壁面に２段となる部分については、通常FL+1300.1500であるが、FL+1300.1100と下げるようにし、操作しやすい処置とした。（図9）

図9　廊下分娩監視システム

４．まとめ

今回、産婦人科専門病院の施工を担当したが、一般の病院と違い女性のための病院であるため、施主や女性の立場に立ち、何を求めているのか、どうあればより使い勝手が良いかを綿密に調整することで患者・スタッフ双方に貢献することが出来た。

今回の経験を活かして、今後は自分なりのテーマを決め、施主が何を求めているのかということを常に頭において、励んでいきたい。

テクノレディから設計技術者へ向けて

新生テクノス株式会社
営業本部　技術部　設計積算センター（九州在勤）
水落　あゆみさん

プロフィール
熊本大学環境システム工学科（建築系）卒業後、大阪で就職。結婚を機に地元九州に戻り、2016年新生テクノス株式会社へ入社する。1児の母として子育て奮闘中。

Q.電気工事会社に入社しようと思ったきっかけは？

転職の際の採用面接でのご縁です。もともと、空調衛生設備に関わる仕事をしており、転職後も建設業に携わる仕事に就きたいと考えておりました。ただ、電気工事会社というのは視野に入れておらず、縁があって紹介いただき、面接で業務内容などお話を伺い、ここならがんばれそう！と思い決めました。

Q.今、どんな仕事をしていますか？
また、仕事の魅力・やりがいは何ですか？

九州支店の工務課の皆さんと仕事をしています。主に、見積作成・設計図の作成を行っておりますが、電気の知識がほぼゼロのため、まだまだサクサクとは進みません。一つずつ自分の知識・技術を増やし、身に着けられるように日々奮闘中です。ひとたび建設現場に行けば、同じ場所で仕事をする仲間ですが、空調衛生設備と電気設備では違うところも多いのだなと実感しております。今は、その違いに気づき、新しい知識を得られることが楽しくやりがいになっています。

Q.これまでの仕事の中で印象に残っているものは？

まだまだ携わった物件が少ないので、これから経験を積み重ねていきたいと思っております。

Q.仕事と子育ての両立で大変なことを教えてください。

職場復帰して10か月。やっと1歳になった娘と奮闘し、周囲に支えられながらなんとか毎日すごしています。職場の方々、家族、保育園の先生方がいなければ立ち上がれないくらい支えていただいており、感謝しかありません。転職した直後に子供を授かったので、まだまだ未熟な仕事に対しても焦りがありましたが、最近はやれることを一生懸命やればいいかなと開き直ってきました。いつか周りの皆さんに恩返しができるようコツコツがんばっていこうと思います。

Q.将来の目標があれば教えてください。

目の前の目標としては、消防設備士乙6類合格です！今夏には消防設備士甲4類をやっと取得しました。資格勉強しながら電気の知識を増やしていこうと画策中です。実務経験年数がみたせば設備設計1級建築士を取得したいと考えています。

Q.最後に同業で働いている女性のみなさんへのメッセージもしくは建設業界を目指そうとしている若い世代の女性にメッセージをお願いします。

電気工事業という仕事柄、女性が極端に少ない印象を受けます。また、九州に転居し同業種の女性の知人が身近にいないこともあり、情報交換できる機会があればいいなと思います。電気設備女子会にあこがれています（笑）

また、直近3年の間に、転居・結婚・転職・出産を経験し、人生の転換期を経験しました。今は、先輩方への尊敬の念と後輩たちへのエールを送りたい気持ちでいっぱいです。社内にロールモデルがいないと不安になることもあると思いますが、逆にこうしたい、こうしてほしいと思ったことを伝えて自分自身がうまく動けるように環境を整えていけばいいと思います。結局、全く同じロールモデルはいないと思いますので（笑）環境がひっくり返っても何とかなっている私がいるので、皆さんもきっと大丈夫！と伝わるといいなと思います。

■上司からひと言

女性が少ない職場ですが誰よりも大きな笑い声が毎日響き渡り、職場の雰囲気が随分と変わりました。保有資格は1級建築士・建築設備・管理技術者（管工事）・一級管工事施工管理技士・2級土木工事施工管理技士・消防設備士（甲類1類）に加えこの度、消防設備士甲種4類の試験にも合格し電気屋さんとしてのスキルもますます向上中。出産後、4ヶ月足らずで復職され子育てしながらの仕事には頭が下がるばかりです。旦那様にも感謝です。

須恵町

本町は、福岡県の中央部よりやや北西寄り、福岡市の東約10kmに位置しています。北は篠栗町、東は飯塚市、南は宇美町、西は志免町および粕屋町に接しています。

（東経130° 30'　　北緯33° 35'　　海抜32.5ｍ）

町域は東西7.1ｋｍ、南北4.0ｋｍ、総面積16.31㎢を有しており、東部及び北部は山地で太宰府県立自然公園指定地区に指定されている若杉山、岳城山がみられるなど自然に恵まれた環境にあります。

町の中央部には須恵川が東西に流れ、中心部は町の南西部にあります。近年では町の北西部から南西部にかけて、福岡市のベッドタウンとしての開発が進んでいます。

町の鳥

「ウグイス」

別名「春告鳥（はるつげどり）」と言われるように、早春の梅の咲く頃に「ホーホケキョ」と美しい声で鳴く。クモ類や昆虫類を食べるので益鳥として保護されている。

町の花

「ツツジ」

ツツジ科の植物で常緑のものと落葉低木のものとがある。よく枝を分かち葉にあらい毛がはえている。 赤やピンク、白の花が4月から6月にかけて咲く。

町の花

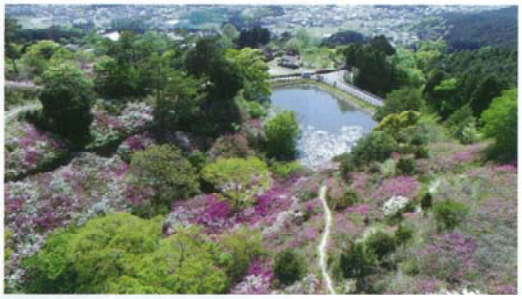
「やまもも」

ヤマモモ科の常緑高木で、温暖地に自生する。果実は、表面に多数のつぶつぶの突起があり、紫紅色に熟す。果肉は食べられ、ジャムやゼリーに利用される。

皿山公園

若杉山の山ろくに広がる町立皿山公園は、春には3万本のつつじが咲きみだれる県の名所です。

季節ごとに梅の花、しょうぶ、あじさいも楽しめ、花の香りが広がる場所です。



眼下には、福岡市、博多湾を望む一大パノラマが広がります。公園内にある町立歴史民俗資料館で昔なつかしい生活用品や町の歴史を見てみませんか。蒸気機関車もあります。

歴史民俗資料館

～九州最古の町立歴史民俗資料館～

須恵町には、古代から近代まで、特色のある歴史が幾層にも折り重なっています。

時間の流れに沿ってまちの歴史を知るには、皿山公園の中にある歴史民俗資料館をたずねるのがいちばん！初めて資料館を訪れた人は、「こんな小さなまちに、こんな立派な資料館が。」と驚かれますが、町立としては九州で初めて、全国でもまだまだ珍しい昭和48年に開館したという先駆的な資料館です。先祖の歴史を、まちの財産として今の暮らしに生かそうという発想が実ったものです。

～１万点を超える資料～

町の歴史の特色でもある佐谷地区の建正寺、中世の高鳥居城、近代の石炭・須恵の目薬、須恵焼の資料をはじめ貴重な考古資料から、なつかしい戦前の生活用具、思わず微笑んでしまう昭和のオモチャまで、須恵町の暮らしの歩みを物語るモノたちが、ところ狭しと展示されています。資料館ホームページでは、ボランティアのみなさんと作成したデジタルアーカイブスを公開しています。

所在地	須恵町大字上須恵21-3
利用料金	無料
開館時間	午前10時～午後5時まで
休館日	月・水・金（祝日は除く）8月1日～8月15日まで、12月25日～1月10日まで
交通手段	JR香椎線「須恵中央駅」より徒歩40分
駐車場	100台（無料）

久我記念館

～糟屋郡唯一の公立美術館～

昭和54年（1979年）に久我美術研究展示館の名称で創設された当館は、うすれ日、放牧三馬等を描いた洋画家、坂本繁二郎画伯（昭和31年に文化勲章受賞）を世に送り出した人として知られる、故・久我五千男氏の私設美術館として建てられました。

坂本繁二郎作品・九州古陶器・キリシタン美術資料・須恵焼（※1）などのコレクションを展示するために、久我氏は、キリシタン資料中の「羊型石版の材質が須恵町産のカンラン岩であること」「須恵焼の収集を行っていたこと」「美しい山と湧き水があること」などの条件を満たした当地に研究展示館を建設しました。久我氏は昭和59年8月6日に急逝され、ご遺族のご厚意により敷地・建物・記念資料を須恵町に寄贈いただき、昭和61年8月6日に須恵町立美術センター久我記念館と改称して現在に至っています。

緑に囲まれたこの美術館は、1階展示室で各種企画展を毎月開催し、2階の常設展示室は筑前の名陶（磁器）「須恵焼」約100点を常時展示しています。

須恵焼（※１）

須恵焼は、江戸時代の宝暦14（1764）年、肥前陶磁の影響の下で開窯し、明治35（1902）年頃の閉窯まで約140年間継続しました。須恵焼の製品は肥前陶磁の影響が強くみられます。幕末期には極めて精緻な製品が、肥前・瀬戸・明・清などの影響のもとに焼かれています。また明治期の金錆染付（きんさびそめつけ）製品は須恵焼独特のもので、他に類例を見ないものです。

来館案内

開館時間	午前10時～午後5時
休館日	毎週月曜日（ただし祝祭日の場合はその翌日）お盆（8月13日～15日） 年末年始（12月28日～1月4日
入館料	無料
駐車場	100台（無料）

アクセス

ＪＲ香椎線	須恵駅下車：タクシーで約5分 徒歩で約30分
西鉄バス	天神日銀前　宇美営業所（行先番号36）一番田下車　徒歩約7分
	福岡空港前発　宇美営業所行（行先番号3）一番田下車　徒歩約7分
須恵町コミュニティバス	城山～一番田線　利用料：100円

シリーズ〔郷　土〕

春

商工つつじまつり

開催：4月29日

毎年、昭和の日に行われる須恵町商工会主催のイベント。健康広場では、ショーやゲーム、バザーなど多彩な催しものを楽しめます。

十一面観音立像御開扉

開催：4月29日

左谷山建正寺の本尊、木造十一面観音立像が一般公開されます。年に一度だけしか拝観できない県の重要文化財とあって、毎年多くの参拝客が訪れます。

夏

ふれあい夏祭り

開催：8月

毎年、昭和の日に行われる須恵町商工会主催のイベント。健康広場では、ショーやゲーム、バザーなど多彩な催しものを楽しめます。

上須恵祇園山笠

開催：7月24日に一番近い日曜日

山笠を担いだ男衆が、上須恵地区のほぼ全域を駆け巡ります。祭りの1週間前からは、飾り山が公開されます。

秋

ぺったんフェア

開催：11月

いきいきコミュニティ（須恵第二小学校校区）主催の秋の年に1度のお祭り。

もちつき大会や子どもたちの舞台発表、晴れた日はミニSLに乗車できるイベントなど子どもから大人まで楽しめます。

すこやか秋まつり

開催：10月

すこやかコミュニティ（須恵第一小学校校区）が主催する、須恵町の秋を彩る祭り。爽やかな秋空のもとで、ゲーム大会や子どもたちによる太鼓の演奏、YOSAKOIの披露など、大人から子どもまで楽しめるイベントが行われます。またバザーでは、地元の人が手作りした雑貨などの小物が販売され賑わいます。

冬

綱引き大会

開催：2月

須恵中学校体育館で開催されます。参加者たちが一致団結して力比べ。

8人グループで申し込めば、誰でも参加できます。

ファミリーカイトフェスタ

開催：1月

親子や子ども同士のふれあいを目的とした、たこあげ大会。6角だこや100連だこなど個性的な力作が新春の空を舞います。アイデアやデザインなどが審査され、グランプリ賞が選ばれます。須恵町運動公園若杉の森（多目的グランド）で開催されます。